



3月定例会	6月定例会
9月定例会	12月定例会
令和3年度一般会計決算 委員会レポート	2:3P 6:7P
スバリ町政を問う！	8~15P

タテコウザライダ2022

福岡県 志免町議会

しめ

議会だより

令和4年 (2022) 11月1日発行 No.103

志免町っていいね!



まじくるつどい場 たからちゃん

気がついたら7年が過ぎていました。住民の学びの場「志免大学」分科会で気軽に立ち寄れる「居場所」があれば…顔が見える地域作りに近付けるのでは…の意見に意気投合した3人が、すでに兵庫県で「居場所」を立ち上げ活動されている丸尾多重子さんに会いに行き「私達も地元でやりたいです」と直談判。丸尾さんは大賛成で、全パクリの許可を頂き、その年の5月「まじくるつどい場たからちゃん」を始めました。おいしいもの食べて、しゃべって、笑って、時には泣き合って、元気になる場。ある日、亡くしたお子さんの事をポツポツと話されたお母さん、ただ一緒に泣いて頷くだけでしたが「ありがとう」と言われ恐縮した日。「介護の事相談できて良かった。前を通ったから寄ってみました。ほっとしますね」等々語って下さった方々。今思う事は「居場所」があって良かったと言って下さる方が、ひとりでも増えていると嬉しいです。

まじくるつどい場たからちゃん 代表 財部 美佐子 記



たのしい餃子パーティー



しっかり手を動かして

編集後記

開催日 9月22日、26日
10月5日、13日、19日

この度、先日開催されました9月定例会において議会広報特別委員会の委員になりました。藤瀬康司です。
町民の皆様へ議会活動を中心とした議会情報を分かりやすくお伝えできるようみんなで頑張ります。宜しくお願いします。



議会広報特別委員会

議会広報特別委員会

- | | | | |
|-------|--------|----|-------|
| 委員長 | 小森 弘美 | 委員 | 大西 勇 |
| 副委員長 | 岩下 多絵 | | 大熊 則雄 |
| 発行責任者 | 丸山 真智子 | | 藤瀬 康司 |
| | | | 稲永 隆義 |

お知らせ お気軽に傍聴にお越しください。

次回の定例会は

12月2日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。
手話通訳(要申込み)、車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です。

メールアドレス gikai@town.shime.lg.jp



しめ議会だより No.103

- 発行 福岡県志免町議会
- 編集 議会広報特別委員会(〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1)
- 発行日 令和4年11月1日 ●印刷 株式会社三光





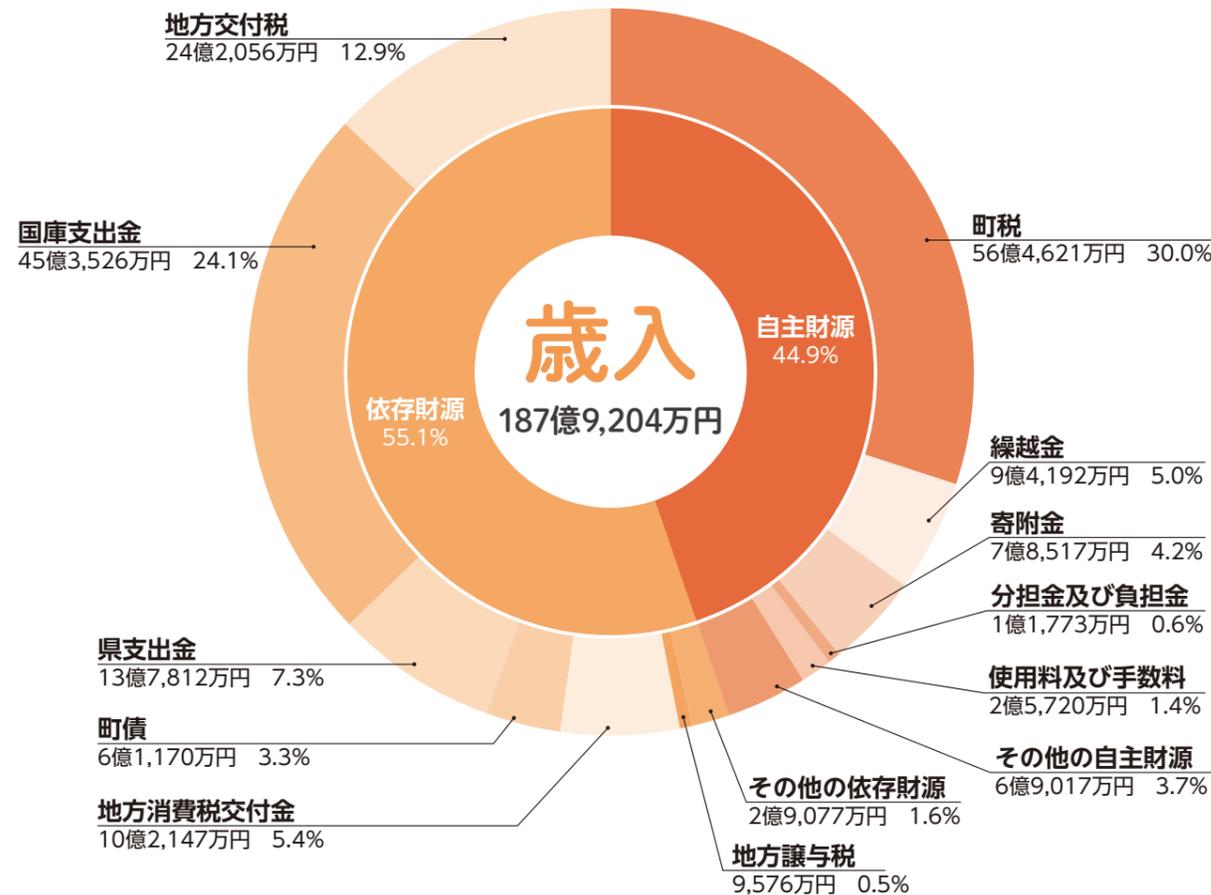
9月定例会

9月定例会は、9月2日から16日までの15日間の会期で開かれました。
 議案11件が上程され議案11件を可決。
 人事案件3件に同意しました。
 一般質問は9月5日、6日の2日間で7人が行いました。

令和3年度 一般会計決算

一般会計 187億9,204万円 認定
可決 **コロナ禍でも健全財政を保持**

賛成 古庄、大西、牛房、大熊、安河内、丸山(卓)、藤瀬、小森、木村、稲永
反対 末藤 **欠席** 岩下



歳入状況

●前年度と比較して、自主財源は6億3,311万円の増↑、依存財源は30億4,137万円の減↓

実質収支

令和3年度一般会計の実質収支額は13億1460万円の黒字。

町税の収入状況

決算額56億4621万円で、前年度より1214万円増収。収納率は96.65%で前年度を0.46ポイント上回っている。不納欠損は682万円で前年度より減少した。

財政の健全性

経常収支比率 (財政構造の弾力性を測定する指数)。
 R2 89・3 ↓ R3 85・4

財政力指数

(財政力を判断する一般的な指標。1.0に近づくほど財政力に余裕がある。)
 R2 0・75 ↓ R3 0・73
 令和2年度と変わらない(増減)

町債(借金)・基金(貯金)

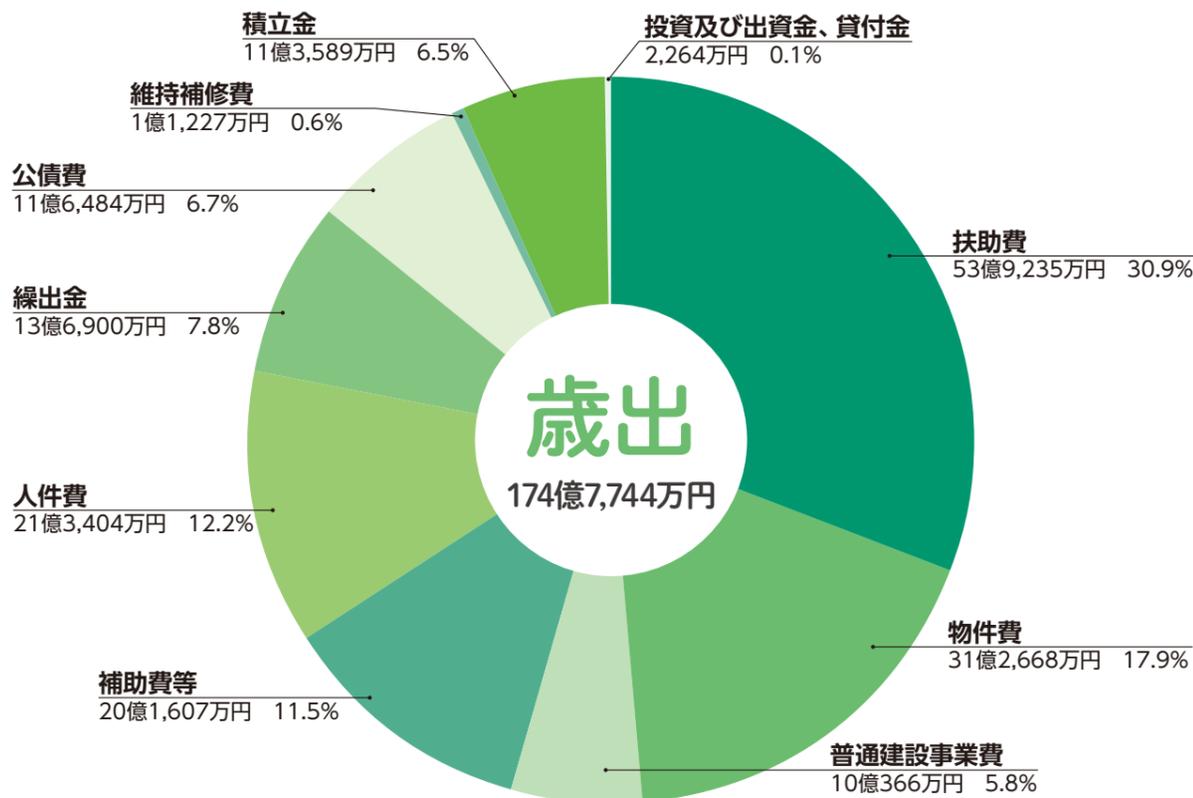
町債(借金)残高は102億9685万円。(臨時財政対策債を除くと34億6304万円) 財政調整基金(貯金)は44億2286万円。

※不納欠損とは
 徴収できなくなった滞納分の徴収金を消滅させること。

※臨時財政対策債とは
 地方交付税の代わりに借入れが認められ、後に全額交付税措置される。

決算特別委員会
 委員長 藤瀬議員
 副委員長 木村議員
 決算審査は特別委員会を設置し、審査を行いました。

歳出



- 扶助費…社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者などの支援を行うために支出される経費。
- 物件費…消費的性質の経費の総称。具体的には、賃金、旅費、消耗品、役務費、通信運搬費、備品購入費、使用料、委託料など。
- 補助費等…公益上必要があると認められる団体などに対して、地方公共団体が交付する補助金、他団体と共同して事業を行うための負担金など。



児童生徒用タブレット端末の修繕費

210万円増↑

フロムブックの故障が想定よりも多く、修繕量及び郵送料が不足したため増額補正するもの。

委員会 今年1月より保証が外れ、8月までの7か月で、すでに49件の修理が発生している。このペースでいくと年間400~500万円の修繕費が予想される為、これまでの事故実績を検証し、今後の対策の検討を要請した。

債務負担行為

広域ごみ処理施設事業費負担金

21億3,222万円

須恵町外二ヶ町清掃施設組合の負担金のうち、ごみの5町搬入量の割合で試算した負担分。期間は令和5年4月1日から令和10年3月31日まで。

広域ごみ処理施設周辺対策協力金

3,000万円

須恵町外二ヶ町清掃施設組合の周辺対策協力金。期間は令和5年4月1日から令和10年3月31日まで。

意見書

「緊急時の薬事承認」の在り方について検討を求める意見書

賛成多数
可決

提出者 大西

意見内容

「緊急時の薬事承認」制度によると「安全性の確認と有効性が裁定される医薬品などを承認」とされている。新型コロナの第7波が猛威を振るっている中、重傷者を減らし医薬現場の負担が軽減できると言われる軽症者向けの国内産飲み薬の期待が高まっている。このほど国内産飲み薬の緊急承認について審議された結果、継続審査となった。

この審議においては安全性とウイルスを減らす有効性について特段の議論はなかったとの声が上がっている。

よって、緊急承認に向け「安全性が確認され有効性が推定されるべき仕組みを明確にするよう改善すること」の意見書を提出する。

賛成者 古庄、大西、牛房、安河内、丸山(卓)、藤瀬、小森、木村、稲永

反対者 末藤、大熊 **欠席** 岩下

令和4年度 一般会計補正予算(第4回臨時会を含む)

全員賛成
可決

13億6,681万円増↑

総額 174億3,177万円

主な歳出

上下水道代2か月間減免に

2億6,300万円増↑

原油価格や物価の高騰に対する経済対策として、令和4年6月、7月使用分2か月分を全額減免するもの。

小・中学校給食費2か月間減免に

5,633万円増↑

原油価格や物価の高騰に対する経済対策として、給食費36食分(2か月相当)を減免するもの。対象者は町立小・中学校に通う児童・生徒の保護者。町立小・中学校に通学していない世帯の保護者へはクオカードを支給。



小中学校給食

東保育園新施設整備始まる

2,764万円増↑

令和5年度に予定している志免東保育園園舎建替中の駐車場を確保するため、園舎建替に先立って駐車場整備を確保するため今年度を実施するもの。

委員会 学校児童との動線、交通安全上、また交通渋滞対策上の考えられる問題を指摘。駐車場内における安全面について要請した。

町立図書館いよいよ電子書籍の導入へ

379万円増↑

利用者への利便性を高めることを目的として、新たな図書館サービスとして電子図書館を導入するためのもの。大野城、粕屋町、志免町、新宮町で広域電子図書館を導入。令和5年4月開始を目指す。



スマートフォン・タブレットでいつでも利用可能となる電子図書館



厚生建設常任委員会 開催日 7月12日、8月23日、8月30日



浸水多発箇所 工事前

工事後



今年度作成されたハンドブック

備えよう！地震・水害

完成！「わたしの防災ハンドブック」

子育て中の家庭や子どもたちの視点を活かした防災への備えから、避難する際の注意点、避難所での配慮などを掲載したハンドブックとなっている。

- 1 防災準備編
 - 2 災害時対応編
 - 3 避難所での生活編
 - 4 在宅避難・被災後の生活について
 - 5 みんなで話そう防災のこと
- 5編構成で分かりやすくまとめられており、今後、小学生とその保護者、また子育て中の家庭を対象に講座実施を計画している。

委員会

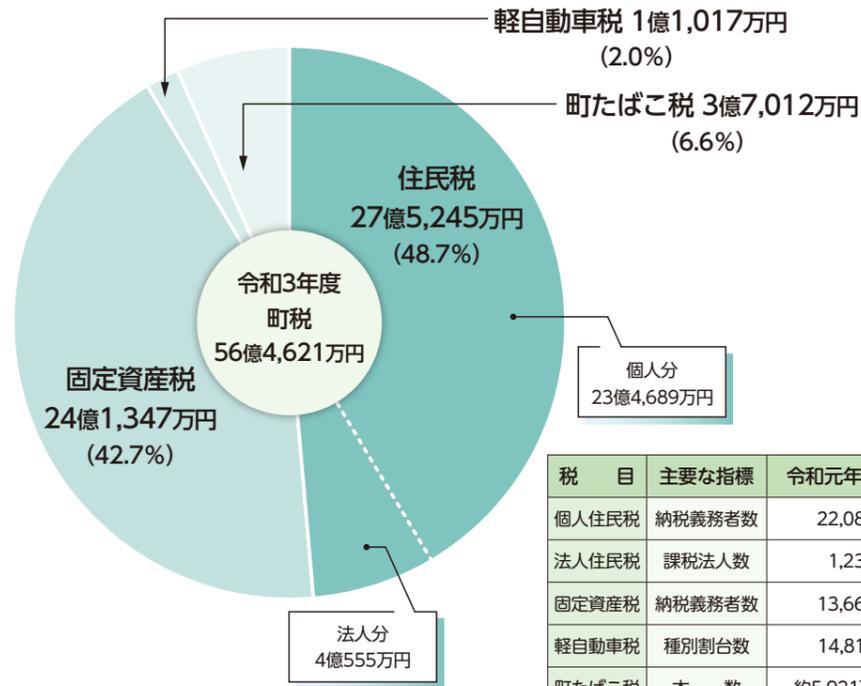
町内会、PTAを通して小学校単位での出前講座や、町内保育園や、幼稚園でのハンドブック配布等、積極的に行ってほしい。

内水対策も着々と

10年に1度程度の確率で発生する大雨(62mm/時)に対して道路の冠水や住宅の浸水被害を解消することを目的とし、「道路冠水対策基本計画」をもとに浸水多発箇所対策工事を順次行っている。

町内に5箇所あった浸水多発箇所は対策工事により現在、1箇所に減ったが、まだまだ問題点が残る。現在、問題解決に向け対策を行っている。
※上記写真を参照

総務文教常任委員会 開催日 7月19日、8月17日、8月30日



税目	主要な指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人住民税	納税義務者数	22,083人	22,691人	22,779人
法人住民税	課税法人数	1,237社	1,285社	1,332社
固定資産税	納税義務者数	13,665人	13,776人	13,795人
軽自動車税	種別割台数	14,816台	14,946台	15,031台
町たばこ税	本数	約5,921万本	約6,022万本	約6,105万本
町税	合計	55億8,877万円	56億3,406万円	56億4,621万円

今後の町税収入の見通しは？

横ばい若しくは微増と予測

税務課から、令和元年からの3年間を比較し、今後の町税収入の見通しの説明を受けた。

- ① 個人住民税
納税義務者の大幅な減少はないと思われ、微増若しくは現状維持と予測。
- ② 法人住民税
新型コロナ感染症の影響などの社会情勢により変化はあるが、現状維持と予測。
- ③ 固定資産税
現在の地価の上昇が続けば、今後増収が見込める。
- ④ 軽自動車税
台数は年々増加。今年度よりグリーン化特例が一部終了するため、今後増収を見込んでいます。
- ⑤ 町たばこ税
本数は増加。国全体では減少し、税率も当面据え置きのため、現状維持若しくは減収を予測。

町税全体

人口の推移等勘案すると、現在の制度においては税収は横ばい若しくは微増と予測している。

主な質疑

- ◎ 志免町から他の自治体にふるさと納税をする人が増えている、今後の見通しは。
◎ 今後増えることが見込まれる。ふるさと納税による減収分の75%は地方交付税で補填される仕組みとなっている。

委員会

コロナ禍による町税の減収を予測していたが、横ばいか微増の予測でまずは安心した。法人住民税の回復が課題と考える。ウイズコロナ時代、町税収入の動向に注視する。



不登校ゼロ宣言の町を目指せ

町長 すばらしい提案へ全町努力



うしふさ よしつく
牛房 良嗣 議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます

牛房 コロナの影響もあって不登校の子は全国的に増え続けている。志免町の実態と対策について問う。

学校教育課参事 令和3年度の不登校は小学校が68名(5年前比4.9倍増)、中学校は103名(5年前比1.3倍)小・中合計171名の不登校。原因としては小学校では無気力、不安、友だち問題と家庭環境の変化、中学校では学業不振、入学時の不適應、生活の乱れとなっている。

教育長 不登校児童生徒の増加は大変重く受け止めている。さらに細やかに務めていきたい。

町長 指摘のように、町にとって由々しき問題、大変苦慮している。学校だけでなく、町を挙げて取り組む。

牛房 不登校の理由は2つ、1つは授業についていけない学業不振、もう一つは家庭の経済的困窮、生活の乱れと学校の問題と行政の問題の2つにある。学校・行政の一体の協力を切望する。

次の質問は、不登校170名の居場所、行き場の問題について。
現状は「ぐんぐん」と「リリーフ」2か所のみ。地域公民館の土曜日、夏春休み期間の活用を提案する。
小学生の学習支援として外国人講師人による英語レッスン、パソコン学習、国語・算数の学習支援等不登校の子も積極的に誘い楽しい仲間づくりを。中学生については土曜日を先生との話し合いの場とし、希望があれば塾、スポーツ、音楽、英語、パソコン等の学習支援、月謝の支援を積極的に応援する。公民館を不登校児童生徒の楽しい集まりの場へ。



中学生以上18歳未満の子どもが利用できる「リリーフ」

町長 子どもを一人置き去りにしない地域での見守りは大事。公民館活用の議員の提案は非常にありがたい。公民館支援のための活動割も検討したい。

牛房 最後に提案を。令和4年度の学校長の経営構想発表の中で校長先生と全教員が一体となって、うちのクラスから、うちの学校が

ら新規不登校は1人も出さないと宣言に感動。志免町4小学校2中学校「175クラス」町長の不登校ゼロ宣言。全町一体の取組みを提案する。

町長 一人一人の子どもに寄り添った、小さな事案も見逃さない取組みを進め、不登校ゼロの町を目指し頑張りたい。

ズバリ!! 町政を問う!

牛房 良嗣 議員 9P

- ① 不登校ゼロ宣言の町を目指せ

丸山 卓嗣 議員 10P

- ① 地域経済活性化に向けた支援を
- ② 職員は町の財産、人財の活用を

岩下 多絵 議員 11P

- ① 不妊治療への理解と周知啓発を

藤瀬 康司 議員 12P

- ① タブレットで本が読めるように

小森 弘美 議員 13P

- ① 男性トイレに汚物入れの設置を
- ② 帯状疱疹を未然に防ぐために

末藤 省三 議員 14P

- ① 学校給食無償化の推進について
- ② 補聴器購入に公的補助制度を

古庄 信一郎 議員 15P

- ① ぼた山は民間サウンディングで

- 一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で*1問1答で行います。
*質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法
- 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。



不妊治療への理解と周知啓発を

町長 保険適用も含め周知徹底が大事



いわした かずえ 議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



岩下 不妊治療が保険適用になった背景には、少子化が加速する中、子どもが欲しいと思ってもなかなか授けられず、治療を必要とする人々が少なくない現実。また、治療費は高額で諦めざるを得ないという現実があった。

2022年4月より公的医療保険の適用となったがその範囲は。

健康課長 一般不妊治療としてタイミング法、人工授精、生殖補助医療として採卵、採精から体外受精や顕微授精、受精卵・胚培養、必要に応じて胚凍結保存を行い、その後の胚移植といった治療まで。

岩下 症状が重く、また流産を繰

「願うときに『この子』は来ますか?」(埼玉県作成資料)男性の不妊を含めた意識啓発や、問題が分かりやすく示され、学校等で出前講座を行う自治体もある。

教育長 外部指導者からの話の中で、生まれてくることに対しての感謝の気持ちや、畏敬の念等の学びがある。それがベースになり、

町長 現時点で保険適用外となっている方の支援は考えていない。今後、国、県の動向、先進地の動向を見ながら検討したい。

岩下 不妊は他人事ではない。一般的に女性が原因であると思われる。男女比は半々。しかし、検査は女性側だけの受診が多く、時間を無駄にする。検査治療は夫婦で受けると効果的。

治療にはタイムリミットがある。若い世代への周知が必要。



埼玉県が作成した啓発パンフレット



福岡市の推進事業

不妊の学習にも生きてくる。性教育と併せて指導していきたい。

岩下 福岡市の支援事業、プレコンセプションケア推進事業としてAMH検査を30歳になる女性を対象に500円で実施。町の考えは。

町長 質問を受けて初めて知った。自分の体のことを調べるのは大切。その辺は勉強していきたい。

岩下 人生を考えるきっかけづくり、ぜひとも検討してほしい。

不妊治療が保険適用になり多くの人たちへの支えになり、治療が必要だという認識が社会に広がる。これが大事。引き続き周知啓発を

ひとくちメモ

※プレコンセプションケアとは
妊娠の計画の有無に関わらず、早い段階から妊娠、出産の知識を持ち、自分自身の体への健康意識を高めること。

ひとくちメモ

※AMH検査とは
血液中の抗ミュラー管ホルモンの濃度を調べる検査のこと。卵巣内の卵子の数を調べるのに役立つ。

町長 御存じない方も含め、しっかり町として広報、HPで啓発をしていくことが大事だと考える。

お願いしたい。

地域経済活性化に向けた支援を

町長 商工会と連携を取り進めていく



まるやま たくじ 議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



丸山 商工会に対し具体的な取組や支援等の実績は。

町長 具体的にできていない。商工会と連携を図り取り組みたい。

丸山 町民運動会や文化祭など今年も軒並み中止となった。感染防止と地域経済活性化との両立を目指し進めるべきと考えるが町長は。

町長 対策を取り進めていきたい。

丸山 ビッグイベント、起爆剤となる展開を検討して頂きたい。また建蔽率・容積率の緩和という規制緩和で活性化を図ることも可能だ。

町長 規制緩和は活性化に繋が

丸山 サテライトオフィスなど企業育成の拠点を検討しては。

町長 進めていきたい。

丸山 堅抗檣のほかに観光産業は。

町長 大きな観光資源はない。

丸山 町内外から空港に近い立地を生かし観光スポットを作ってほしいと期待されていると感じる。

町長 できないかという思いはある。



運動会開会式

子供リレー

商工祭り

80周年

職員は町の財産、人財の活用を

町長 先を見据えて取り組んでいく

丸山 組織において人は宝であり職員の皆さんは志免町の財産だ。優秀な職員やまだ眠っている人材を活かす組織づくりが必要である。まず職員数と業務適正化の判断は。

総務課長 全国98類似自治体中、一番少ない職員数。少数精鋭。業務適正化の重要性は感じている。

丸山 職員数と業務適正の判断は。

町長 足りてないところに職員数を増やす手当てをしたい。

丸山 職員の採用基準は。

町長 学力と面接で見極め採用。

丸山 組織には年齢のバランスも重要。長期的な目線で採用し年齢の不均衡を解消すべき。配置、異動の考え方。育成は。



適材適所の人員配置を

総務課長 自己申告制度で希望や意見等把握による適切な配置。研修による育成。

丸山 専門職員増員や営繕課といった専門部署設置の検討は。

町長 増員を図りたい。将来的に検討したい。



男性トイレに汚物入れの設置を

町長 町で置ける範囲は対応していく



こもり ひろし 議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



小森 サニタリーボックスを男性用トイレに設置する

総務課長 シーメイトの風呂の男性用トイレ1室のみ置いている。

小森 前立腺がん・膀胱がんは手術後、頻尿になりやすく尿漏れパッドを着用することが多い。公共施設等の男性用トイレの個室にサニタリーボックスの設置が進んでおらず、パッドを捨てるところがない。志免町の公共施設等の男性用トイレにサニタリーボックスを設置している個室数は。

事で、がんと闘いながら社会の中で活躍する方を応援し、LGBTなどの性的少数者の方への配慮に繋がると思う。庁舎内のサニタリーボックス設置表示をして置いていただきたい。

町長 設置に伴った表示が大事。表示と一緒にサニタリーボックスを庁舎には早急に対応する。



さっそく役場1階男性用トイレに設置

带状疱疹を未然に防ぐために

町長 調査研究し前向きに進めたい

小森 带状疱疹は50歳代を境に発症率は急激に上昇し、60歳代から80歳代でピークを迎え、80歳までに3人に1人が発症する。志免町の带状疱疹を発症した人数は。

人の約2割が带状疱疹神経痛になる。又带状疱疹の現れる部位により、顔面神経麻痺、目の障害、耳鳴り、めまい等の後遺症が生じ生活に支障をきたす人もいる。带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進は。

健康課長 把握できていない。

小森 宮崎スタディの計算式で志免町の発症数を計算すると、50歳代以上は205人。65歳以上は130人発症する。ワクチンの効果は。

健康課長 ワクチン接種で免疫を強化し予防する。

小森 市民の健康を守る観点から、带状疱疹ワクチン接種の助成をすべきと考えられているか。

小森 带状疱疹を発症した

町長 調査研究し前向きに進めたい。



タブレットで本が読めるように

社会教育課長 来年4月サービス開始予定



ふじせ やすし 議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



藤瀬 学校施設に求められる機能、性能を将来にわたって確保するために施設整備の長寿命化という考え方を取り入れ、効率的な改修・改築を実施し、財政負担の軽減及び平準化を図る目的とした学校施設の長寿命化計画を志免町は策定されているのか。

学校教育課長 学校施設だけの長寿命化計画はない。

藤瀬 無計画で改修しているのか。

学校教育課長 必要に応じ劣化が進んだ箇所に対応している。

藤瀬 学校の耐震化は。

町長 検討していない。

藤瀬 費用がかかることなのでかかるべき場所に順番に対応していただきたい。

藤瀬 小学校を複合化し図書館や公民館、公共施設を複合化しては。

学校教育課長 耐震化していく。

藤瀬 子どもたちがタブレットで教室や自宅で本が見れる環境にするため電子図書館を導入しては。

社会教育課長 議員からの提案である電子図書館の導入は来年4月のサービス開始を予定。

藤瀬 学校の体育館に国の補助金を活用しエアコン設置は。

町長 まずは町民体育館からエアコンを設置したい。

藤瀬 コロナ対策臨時交付金で中学校に体育館にエアコンは設置できたが検討はしたか。

藤瀬 コミュニティスクールとは。

学校教育課長 学校運営協議会を設置した学校のこと。

藤瀬 予算をかけて、コーディネーターを配置している。PTA、先生だけではなく教育委員会、学校教育課が連携しコミュニティスクールを前進できるように協力を。

藤瀬 東地区体育館の跡地に保育園がくる。保育園の跡地やプールが今後も民営化が続くのであれば、保育園とプールの跡地を一緒に開発が可能。地域の方々と連携ができるコミュニティセンターを検討は。

町長 東保育園の解体と併せてプールの解体もしたほうがいい。跡地については検討する。



来年4月から開始される電子図書館



ぼた山は民間サウンディングで

町長 須恵・粕屋両町長に提言する



ふるしょう しんいちろう 古庄 信一郎 議員
こちらから一般質問の動画が視聴できます

都市整備課長 地盤調査はない。

古庄 ぼた山の地層調査報告は。

町長 3町共有で非常に難しいが、自然活用型の形でやっている。

古庄 志免町は大変狭い町で、故に土地活用は他自治体以上に知恵と計画性を持って対応すべきで、代表的な3ヶ所について伺う。まず「ぼた山」については、過去30年以上、色んな考えが出されたが、全く進展していない中、平成21年の協議会で画期的に開発の方針は「現状を活かした自然活用型の開発」と3町総意で決定したが、その方針は継続と理解して良いか。

町長 3町共有で非常に難しいが、自然活用型の形でやっている。

古庄 それを一緒に考えようというのが協議会そのものだった。過去の教訓から今後への提言をする。(1)将来に対する行動計画、考え方を全庁的プロジェクトチームをつくり策定。(2)行政と議会の情報共有を強化し一体で取り組む姿勢の構築。(3)最終的には町民との合意を図る。(4)民間活力を期待するなら最低限の情報公開を。(5)地方公共団体のサウンディング型

町長 事業計画書が届いていない。

古庄 それを一緒に考えようというのが協議会そのものだった。

町長 事業計画書が届いていない。

古庄 開発、活用等の申請実態は。都市整備課長 令和2年から3件。古庄 平成31年に志免在住の企業の方と私が発起人として、ぼた山を世界に発信できる「未来環境都市」へと開発する協議会設立を3町長に同意を得、そのシンポをシームレスで全国から産官学の錚々たる160名の方々の参集を得て開催したが、その後一歩も進展せず、その説明なり報告が一切ないが。

古庄 東小学校周辺の問題は、以前から町の価値ある地域であり、地域一体の全体的計画を策定すべきと提言したが、保育園だけの単発事業となり残念だ。最後に今後の町の土地活用は、サウンディング型市場調査で行い、新設の公共施設は原則複合的施設で計画的に行うよう提言する。

町長 その温泉施設も視野に入

町長 望山荘跡地活用は過去、非

町長 両町長に提案を行う。

市場調査(まちづくりの民間サウンディング)の活用。これはまさに九州大学の箱崎跡地開発でとられ、成功した方法で、3町共有のぼた山だからこそ、この方法しかない。両町長に強く提言すべき。



現在のぼた山と壱坑槽

町長 若手職員とその考え方を共有しプロジェクトなりで進める。

学校給食無償化の推進について

町長 今の状況では難しいと判断



すえふじ しょうざん 末藤 省三 議員
こちらから一般質問の動画が視聴できます

末藤 憲法に保障されている無償

学校教育課長 給食も含めて教育に入る。

末藤 学校給食は教育の一環である。この中に含まれるか。

教育長 憲法26条2項において、すべての国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育はこれを無償とするという条項がある。

末藤 学校給食について、憲法で言う教育は無償であるという項目があるが、この認識はあるか。

末藤 憲法で教育は無償であるとうたっているが、ただ財政的に無理だというだけでは納得しかねる。他の自治体のこともしっかりと検証し、2割、3割も含めて検討し、第2子、第3子の件も含めて検討すると答弁されているが、どのように協議したのか。

町長 学校給食の無償化については、親御さんにとってはありがたい話だというのは理解できるが、財政状況から考えると、大きな費用負担がかかる。今の状況では大変難しいという判断をしている。

町長 無償化については今の状況では非常に難しいという判断をしている。

補聴器購入に公的補助制度を

町長 調査研究を行っていききたい



末藤 障害者手帳を持たない高齢者の方が多くなっている、難聴者の方々が社会参加できていない。アンケート等で実態把握する必要がある。それによって志免町の難聴で困っている人たちも志免町に住んでいて良かったと言えるような対策を打っていく必要があると思うが。

町長 実態を把握することは大事と思っている。調査の方法や先進自治体も含めて調査研究をしていきたい。



定例会の本会議を インターネット (YouTube) で 録画配信します!

志免町議会では、議会での活動等を町民の皆さんに幅広く知っていただくため、YouTube(ユーチューブ)による本会議の録画配信を開始しました。

令和3年12月定例会以降の動画が、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できるようになりました。ぜひご利用ください。



視聴方法

パソコンの場合は、「志免町議会録画配信」で検索すると下の画面にアクセスできます。



スマートフォンの場合は、下のQRコードを読み取ってアクセスします。



辞職願を許可

8月31日付で、亀崎大介議員から、一身上の都合のため志免町議会議員を辞職したいとの辞職願が提出され、議長がこれを許可しました。

なお、辞職により新たに、

宇美町・志免町衛生施設組合議会議員 小森 弘美 議員
議会広報特別委員会委員 藤瀬 康司 議員 が選出されました。

災害はいつ、どこで起こるかわからない 万が一に備え、議場で防災訓練を実施

9月16日(金)、9月議会最終日の閉会后に、議場での避難訓練を実施しました。

議会中に地震や火災が発生したと想定し、議員、議会に参集している職員や傍聴者が、速やかに安全に避難場所まで移動し安否確認を行なうものです。

生活安全課の菊武防災管理監から説明を受け、地震時の身体の安全確保、火災の場合の非常階段からの避難を实际行い、訓練の大切さを実感いたしました。

今後も、「志免町議会業務継続計画(BCP)」に基づき、防災訓練を行う予定です。



火災発生時の避難訓練



大地震時に身をかがめて身体を守る訓練

広報新体制発足

亀崎議員辞職(8月31日付)により議会広報特別委員長に小森議員が就任しました。新しく委員に藤瀬議員も迎え、これからも町民の皆さまに、よりわかりやすい広報を目指し頑張っていきたいと思っております。



新体制となった広報特別委員会

ようこそ志免町議会へ

9月28日宮崎県えびの市議会会派4名の議員が「議会報告会について」視察に見え、議会運営委員会で対応しました。私たち議会が行っている町民との「語ろう会」に大変興味を持たれ、活発な意見交換が行われました。



えびの市議会様 遠方よりよくお越しくございました